

## 「身近な問題を素早く解決」班活動紹介

実施日時：6月1日(水) 午後1時～3時(晴れ)

場 所：池田市（逸翁美術館、小林一三記念館、池田城址）

テ ー マ：身近にある文化施設や歴史公園を訪ねる

2班広報担当 加藤憲子

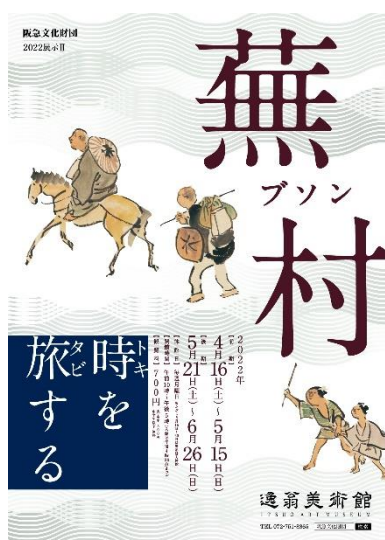
### 1. 逸翁美術館

「時」を解題のテーマとして、俳諧や絵画に表現され

た蕪村の作品が魅力的に紹介されていました。

会場は「時を捉える」「時を想う」「時を旅する」の三部から構成されており掛け軸や屏風、巻物等を観ることができました。

蕪村が「奥の細道」の全文を書写し、挿絵を添えています。



「奥の細道」冒頭部分：芭蕉と弟子の曾良が見送られる旅立ちの様子

今回の逸翁美術館所蔵の「奥の細道図鑑」とは別に新たに5点目の蕪村作「奥の細道図鑑」が見つかったと6月13日京都国立博物館が発表したのも興味深い。(6月14日読売新聞より)



### ◎2班参加メンバー8名

逸翁美術館前で撮影

「戸外では距離が取ればマスクはなくてもOK」といわれていますが、つつい至近距離でおしゃべりしてしまいますので全員マスクです

## 2. 小林一三記念館



記念館入口

阪急電鉄の創業者で様々な生活文化を創り出したアイデアマンの功績を知ることができました。

### 3. 池田城址散策



室町時代から戦国時代にかけて、池田市域一帯を支配した地方豪族の居城跡地。

公園として整備され、緑の多い気持ちのいい素晴らしいところでした。

3か所を訪ねて満足感と程よい疲れを感じながら家路につきました。

帰途、阪急池田駅近くの商店街では新鮮な能勢の野菜を見つけて思わず買ってしまふ人も。